



知っちょコラム



長門市シティプロモーション部

てとてとながと タイムライン vol.03

📍 油谷向津具半島



by kami

長門ピクニック # ながピク # ランチ
むかつく半島 # 海を眺めながら

第2期生が長門の魅力を市民目線でSNS（Facebook ページ・Instagram）にて発信中！このコラムでは投稿の一部をピックアップしてご紹介します。

📍 センザキッチン・観光案内所 YUKUTE



by kou

yukute_photo # 岩倉しおりさん写真展
海が見たくなる # 海と光
青海島で迎える朝



てとてとながと
Facebook
Instagram
フォローしてね



道の駅センザキッチン

ダイニング棟ウッドデッキに 屋根が完成

センザキッチンのダイニング棟を抜けた屋外ウッドデッキに屋根が完成しました。

これまで、雨の降る日や炎天下の日などはウッドデッキのご利用が困難でしたが、今後はそんな日でも、屋外で海を見ながら食事がお楽しみいただけます。カラフルな青海島観光汽船の発着の様子を見ることができます。

ダイニング棟の焼き鳥、イカ焼き、ラーメン、海鮮丼、カレーをはじめ、センザキッチンのテイクアウトメニューを持って、ゆっくりのんびりとした時間を過ごされてはいかがでしょうか。



道の駅センザキッチン ☎ 27-0300



生涯「健幸」で元気に暮らせるまちを目指して

熱中症を予防して夏を元気に 過ごしましょう！

マスクを着けると皮膚からの熱が逃げにくくなり、気づかいうちに脱水になるなど、体温調節がしづらくなります。

特に子どもや高齢者は熱中症になりやすく、自分では体調不良に気づきにくいので、周囲が注意を払い、声をかけあって熱中症を予防しましょう。

【熱中症を防ぐために】

- ・涼しい服装、日傘や帽子、冷房を利用し暑さを避けましょう
- ・のどが渇いていなくても1時間ごとにコップ1杯の水分補給をしましょう
- ・マスク着用中は激しい運動は避けましょう
- ・屋外で十分な距離（2メートル以上）を確保できるときはマスクを外して休憩をとりましょう
- ・暑くなり始めた時期から適度に運動をし、暑さに備えた体づくりをしましょう
- ・日頃から体温測定、栄養バランスのとれた食事、十分な睡眠を確保し、体調を整えましょう
- ・体調が悪い時は無理をせず、自宅で静養しましょう

マスク着用時は特に注意！



長門市保健センター ☎ 23-1133



▲デスクは企画政策課内に



▲40歳まで現役で活躍した



国の地域活性化企業人制度を活用して、4月から長門市に出向している露木調整監が、シティプロモーションの推進に向けて抱負を話してくれました。

長門の人

07

長門市企画総務部調整監
ジャルセールス株式会社から出向

露木 健也
つゆき たけや
さん

露木調整監 ジャルセールスでは、平昌オリンピックやラグビーワールドカップでのナショナルチーム選手団の渡航手配など、選手が安心安全に最高のパフォーマンスを発揮できるよう準備や調整を行う業務を担当していました。

中学生からラグビー筋で、JALグループでも実業団選手として活躍していました。高校生時代に花園に出場した時は、大津高校（当時）と同じ宿舍で不思議な縁を感じています。

また、長門市はラグビーと深い関わりがあり、行政への出向には不安もありましたが、今しかできない経験ができるのと思いから、期待に胸を膨らましています。

市役所では、シティプロモーションの推進を担

当しています。これまでに築いてきたスポーツ業界とのつながりという強みを活かし、スポーツのキャンプ地といえば長門市となるよう認知を高め、カナダやブラジル代表のキャンプの引き受けというモデルケースを商品化することにより、ターゲットを絞った売り込みをしていきたいと思います。

JALの企業理念には「全社員の物心両面の幸福を追求し、お客さまに最高のサービスを提供します」という一文があります。自分たちがまず幸せにならないとお客様に快適なサービスは提供できません。私自身が長門市での生活を楽しみながら、豊かな自然と美味しい食を活用し、リフレッシュしながら働くワーケーションやアウトドアツーリズムも進めていけたらと考えています。

長門市市民憲章

①青い海 みどりの大地
いかしあう、美しいまちをつくります

長門市広報 知っちょこ

No. 253 2021年（令和3年）7月号

発行 長門市役所
〒759-4192 山口県長門市東深川 1339-2
TEL 0837-22-2111（代）

編集 企画総務部企画政策課シティセールス推進班
TEL 0837-23-1117 FAX 0837-22-5358

熱狂的な広島東洋カープファンである私は、試合が放映されるたび、テレビにかぶりついて見ていました。ちょうど3連覇した強い時期でもあって、いっしょに見ていた子どももすっかりカープファンになり、スポーツ少年団に入団。▼しかし、まわりのお父さんは野球経験者が多い中、未経験の上に運動神経をどこかに忘れて生まれた私は、何も教えられません。▼せめて公園でキャッチボールの相手をしようとするも手首をひねって2度病院行き。▼最近はお父さんには取れないから見ていただけでいい」と言われる始末。そんな私は、もっぱらチームの練習で球拾いに精を出す日々です。

編集後記

